行政評価シート（事務事業評価）

評価年度	28年度

事業名	保健対策推進事業	担当課	保健課
細分化した事業名			

1 計画（PLAN）：事務事業の計画的位置づけ

第6次長期総合計画での目的体系	基本方向	誰もが安心して暮らせるまちづくり
	政策	健康な暮らしを守る保健・医療の充実
	施策	健康づくりの推進
関連する個別計画等	第二次韮崎市食育推進計画	根拠条例等：健康増進法、食育基本法

2 計画（PLAN）：事務事業の概要

事業の目的	市健康増進計画及び食育推進計画に基づき、市民の健康の保持・増進を図る。また、地域住民に密着した食生活改善推進員による料理講習会や普及啓発活動により、食育の推進を図る。
事業の手段	・食育普及活動 ・食育推進事業の業務委託（市食生活改善推進員会） ・食育推進員会の開催 ・母親のための料理講習会、託児委託
事業の対象	全市民

3 実施（DO）：投入費用及び従事職員の推移（インプット＝費用＋作業）

		25 年度	26 年度	27 年度
A 事業費	（千円）	5,990	807	529
財源内訳	国・県支出金			
	その他（使用料・借入金ほか）			
	一般財源	5,990	807	529
B 担当職員数（職員 E）	（人）	0.45	0.50	0.65
C 人件費(平均人件費×E)	（千円）	2,921	3,397	4,365
D 総事業費(A+C)	（千円）	8,911	4,204	4,894

主な事業費用の説明	食生活改善推進員会委託料 各町（11地区）食生活改善推進員会への地域食育実習教室開催運営委託料 25 年度 食育推進計画策定業務：1,575,000 円　人件費：3,301,895 円

注）平均人件費は各年度決算額(職員給与費)から算出した 25 年度（6,491 円）,26 年度（6,794 千円）,27 年度（6,715 千円）を使用しています。

4 実施（DO）：事業を数字で分析（アウトプット＝事業量）

		指標名	指標の算出方法	実績値 25 年度	26 年度	27 年度
活動指標	1	地域食育実習教室	開催回数（回）	11	11	11
	2	食生活改善推進員会家庭訪問事業	訪問軒数（軒）	171	311	348
	3	母親のための料理講習会	開催回数（回）	—	—	4

妥当性		□ A 妥当である　■ B ほぼ妥当である　□ C 妥当でない
上記活動指標と妥当性の説明	1	市内１１地区で親子及び男性に対して食育実習教室を開催している。地域に根付いた活動により、多くの市民に健康づくりの推進を行うことが出来る。
	2	平成２５年度から減塩の普及を目的に、１１月～２月の中で会員が地域の方を対象に家庭訪問を行い、みそ汁の塩分測定を行っている。
	3	平成２７年度から子育て支援センター利用者を対象とした託児付きの食育講習会を年４回開催し、若い子育て世代への食育を推進している。

5 評価（CHECK）： 事務事業評価 （アウトカム＝成果・効果）

		指標名	指標の算出方法	実績値		
				25 年度	26 年度	27 年度
成果指標もしくはまちづくり指標	1	市委託事業 地域食育実習教室	参加者数（人）	245	215	197
	2	食生活改善推進員会 家庭訪問事業	塩分濃度平均値（%） ※標準　0.8～1.0%	0.74	0.73	0.73
	3	母親のための料理講習会	参加者数（人）	―	―	52

成　果		□ A 上がっている　■ B ほぼ上がっている　□ C 上がっていない
上記指標の妥当性と成果の内容説明	1	参加者は低調ではあるが地域に最も近い食のアドバイザーであるため、継続することで市民の健康づくりが着実に推進される。
	2	塩分濃度の平均値は横ばいであるが、標準よりも低い数値である。地域の繋がりや声かけにより減塩の意識が根付いている。
	3	子育て支援センターへ、８名の託児を委託し、ニコリ調理室にて教室を開催している。参加者は常に満員であり、子育て世代の母親のニーズに答えられている。

事務事業総合評価	□ A 期待以上に達成　■ B 期待どおりに達成　□ C 期待以下の達成

6 改善（ACTION）：今後の事務事業の展開

今後の事業展開	□ 拡大（コストを集中的に投入する） ■一部改善（事務的な改善を実施する） □ 全部改善（内容・手段・コスト・実施主体等の見直しが必要） □ 縮小（規模・内容を縮小、又は他の事業と統合する） □ 廃止（廃止の検討が必要）
事務事業の改善案	改善の概要・方向性（いつまでに、どういう形で具体化するのか） 28 年度の改善計画（今後の事業展開説明） ・地域食育実習教室の参加者数を高めるため、周知方法や教室の内容を検討する。 ・家庭訪問は今年度も引き続き行い減塩の推進を進める。 ・母親のための料理講習会アンケートで、託児付きの料理講習会を増やしてほしいという意見が多いことから、開催日を年４回から５回に増やし参加者を増加させる。
過去の改善経過	平成 21 年 3 月　韮崎市食育推進計画策定（平成 21 年～25 年度） 平成 26 年 3 月　第二次韮崎市食育推進計画策定（平成 26 年～30 年度）
課長所見	市委託事業については、健康寿命延伸の一翼を担う食に関する事業であるため、改善策を検討し実施してゆく。また、新事業については、今後も課題を改善しながら取り組んでいく。